

【定期試験 国家試験】

手書きでとにかく書くことをやっていました。プリント中心の授業だったので、その内容プラスそれだけでは分からない・思い出せない内容に関しては教科書などで調べたことも書き込み、自分なりにまとめ直していました。参考書を自分で作るような感じです。必要であれば絵や表も書き込みました。

教科の垣根を越えてまとめるのは、時間も手間もかかりますが、かなり考えながらやらないとできないので、出来上がったノートを見ると思い出しやすいかったです。

授業プリントを写して書く、となると作業になりがちなので、如何に考えながらまとめられるかは大事だと思います。

模試や試験が終わると、解けなかった部分に関してはさらに書き込みをするなどしていたので、白紙のルーズリーフやコピー用紙を使っていました。テスト前はいろいろな教材を見るのではなく、基本的には自分でまとめたノートを見ていました。テスト前に確認するものを絞るためにもこのノートを作っていた目的もありました。

得意な科目に関しては積極的に友達に教える、あまり得意でない科目は友達と一問一答のような問題を出し合っていました。

経穴などとにかく暗記が必要なものは、紙に書くことに加えて、部屋を歩き回りながら声に出していたこともあります。

国家試験に向けては、上記プラス問題を解き、さらにノートに書き込む、を繰り返していました。